

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	上下水道の充実	政策(項)番号	VI
施策名(目)	環境に配慮した水処理の推進	施策(目)番号	②
担当課	建設課	担当課長	門間 傳

1. 施策の基本方針

施策目的	・快適な住環境を創るため、下水道及び合併浄化槽の普及促進と適正な管理に努める。
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
		<p>・下水道や合併浄化槽の普及により、年々公共水域の水質は改善されているが、下水道(農集排を含む)水洗化率は約87%と普通であるが、合併浄化槽設置率は約60パーセントと低水準であり、更なる普及拡大が求められる。</p> <p>・今後、下水道区域の拡張は地勢から見ても困難であり、下水道区域以外の地域については、合併浄化槽による整備が効率的である。</p>	<p>・国では、地域間の下水道普及率格差の是正のため、住環境の整備を進めている。</p> <p>・下水道区域以外の地域については、合併浄化槽設置の補助金制度により、普及促進が求められている。</p>						

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	町全体普及率	目標			70.00%	71.00%	72.00%	72.00%	下水道水洗化及び浄化槽設置済人口/行政区域内人口 仙南市町平均 86.02%
		実績	67.65%	69.00%	70.44%				
		達成率			100.63%				
参考①	下水道水洗化率	目標			87.00%	87.10%	87.20%	87.20%	水洗化人口/下水道区域内人口 仙南市町平均 86.38%
		実績	86.39%	86.88%	86.91%				
		達成率			99.90%				
参考②	合併浄化槽普及率	目標			58.00%	60.00%	63.00%	63.00%	浄化槽設置済人口/下水道区域外人口
		実績	54.71%	56.87%	59.70%				
		達成率			102.93%				
参考③	経費回収率	目標			80.00%	82.00%	85.00%	85.00%	使用料収入額/営業費用額 回収率は100%以上が望ましい
		実績	66.01%	79.47%	62.12%				
		達成率			77.65%				
参考④	使用料収納率	目標			100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	使用料収入額/使用料収入調定額
		実績	92.87%	94.55%	94.30%				
		達成率			94.30%				

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		58,800千円	61,133千円	115,027千円	135,575千円	73,424千円	73,424千円
財源内訳	国庫支出金	3,962千円	5,697千円	5,697千円	2,884千円	2,884千円	2,884千円
	県支出金	2,561千円	1,720千円	3,381千円	2,512千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	152千円	千円	159千円	千円	159千円	159千円
	一般財源	52,125千円	53,716千円	105,790千円	130,179千円	70,381千円	70,381千円
従事者数	正職員	1.99人/年	1.22人/年	1.21人/年	1.21人/年	1.20人/年	1.20人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	13,398千円	8,320千円	8,216千円	8,216千円	8,148千円	8,148千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		1,726千円	1,141千円	1,099千円	1,099千円	1,090千円	1,090千円
トータルコスト		73,924千円	70,594千円	124,342千円	144,890千円	82,662千円	82,662千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・下水道水洗化率は横ばいであるが、合併浄化槽設置率は毎年の計画値を達成しており満足している。しかし、全体としての整備率は低調であり、近隣市町平均を下まわっているため、Cと判断した。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・下水道についての水洗化率の向上はあまり望めないが、合併浄化槽については、更なるPRや普及啓蒙を行い、今後も補助制度を継続して行くことにより、普及率向上が見込める。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]			・下水道や合併浄化槽の整備意義や認識が理解されさらに浸透すれば、快適な住環境が構築され、また、河川や水路等の公共水域の保全につながることから、貢献度は非常に高い。

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の下水道整備については、地勢などにより費用対効果が望めないことから区域拡張は困難である。 ・近年、人口減少により使用料収入が年々約5%ほど減少し続けている。 ・施設の老朽化も進んでいることから維持管理費が嵩んでくる状況にあり、定期的な料金改定が必要である。 ・営業費用が料金収入額に対し不足している額については、一般会計からの繰入金により補てんされている。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、下水道区域の拡張は行わず、区域外については合併浄化槽を推進し、補助金制度を継続して行く。 ・補助金額については現行と同様に、補助基本額に上乗せた補助を今後も続けて行き、他団体と比較し多い補助金を交付し、住民の方に有利となるように補助して行きたい。(県内の市町村では、基本補助額のみ補助金交付がほとんどである。)
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。